

## 九重山

### ○概 況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

### ○噴煙活動の状況

噴煙は白色・ごく少量で、噴煙高度の最高は 600m(12 月：500m)で、特に異常は認められませんでした(図 1、図 3)。

### ○地震・微動活動の状況

火山性地震の回数は 63 回(12 月：49 回)で、1 日あたり 0～3 回と少ない状態で経過しましたが、26 日には 22 回とやや多く発生しました(図 2、図 4、図 5)。地震の震源は、主に久住山の西北西約 5 km 及び硫黄山付近でした(図 6)。

火山性微動の発生はありませんでした。

### ○地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツルの各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化は見られませんでした(図 7)。

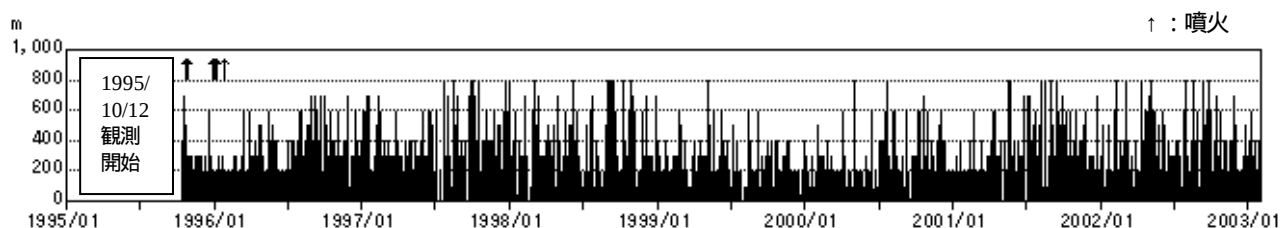


図 1 日別噴煙最高高度(1995 年 10 月 12 日～2003 年 1 月 31 日)

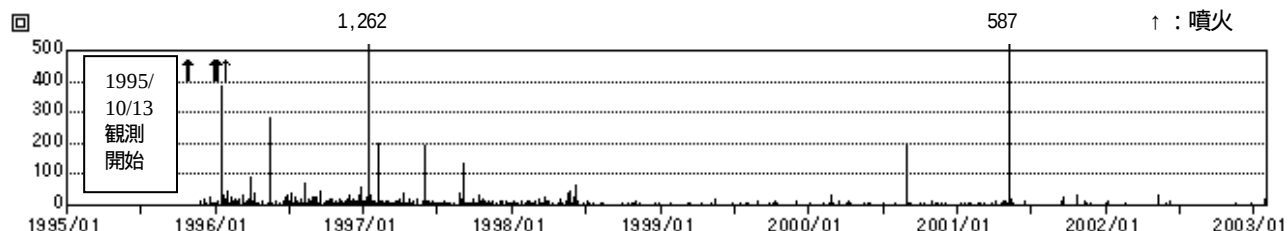


図 2 日別地震回数(1995 年 10 月 13 日～2003 年 1 月 31 日)

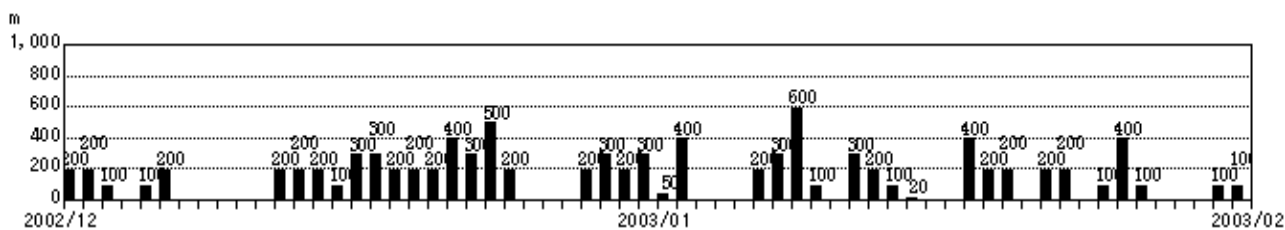


図3 日別噴煙最高高度(2002年12月1日~2003年1月31日)

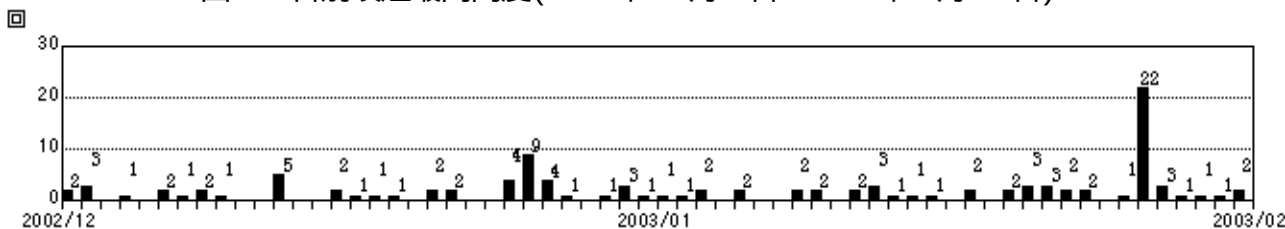


図4 日別地震回数(2002年12月1日~2003年1月31日)

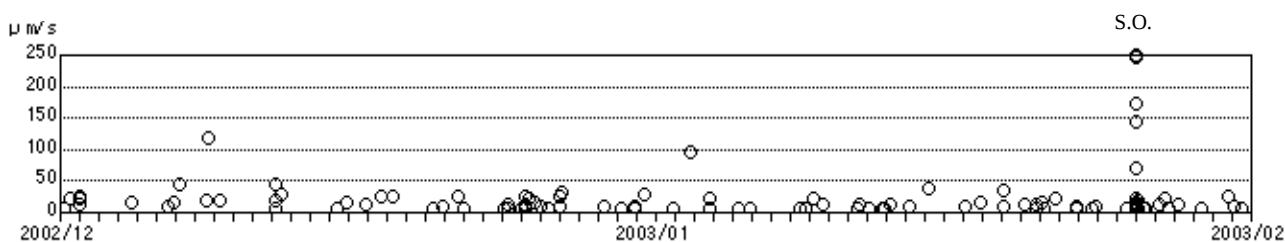


図5 火山性地震の最大振幅(A点上下動)(2002年12月1日~2003年1月31日)

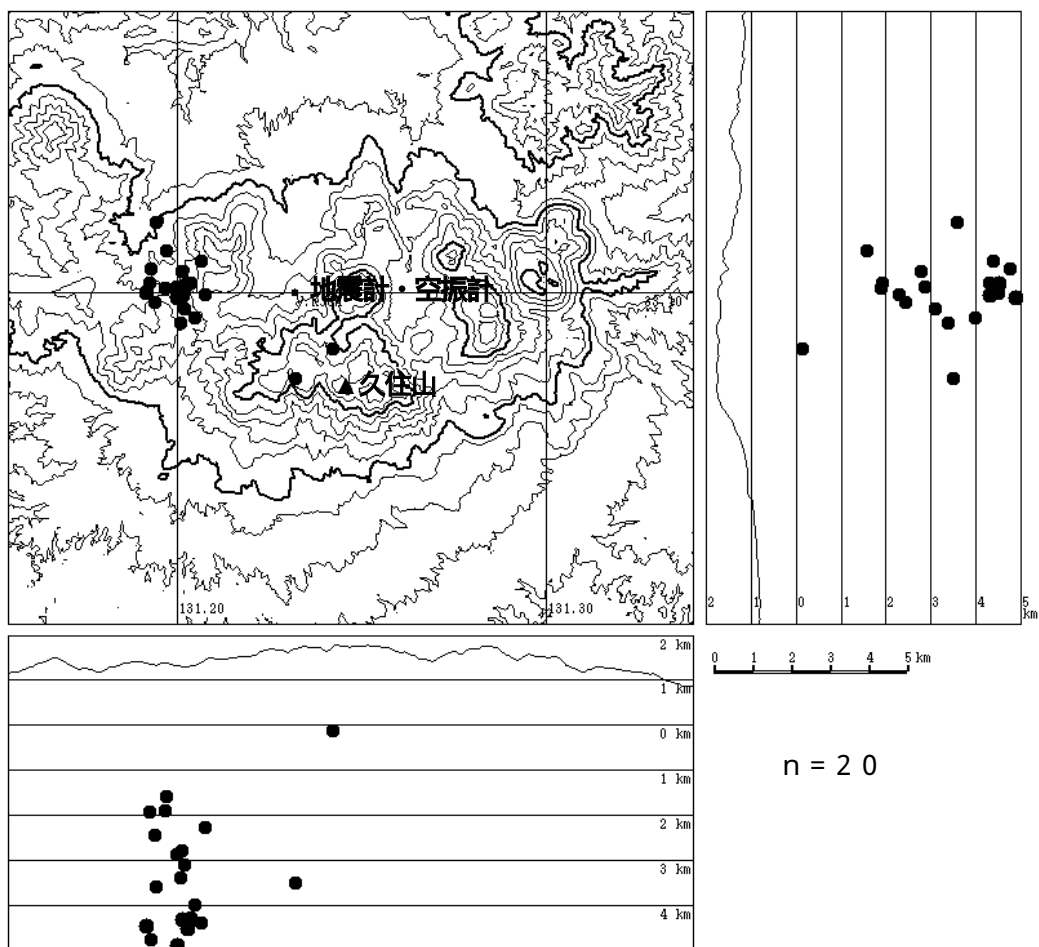
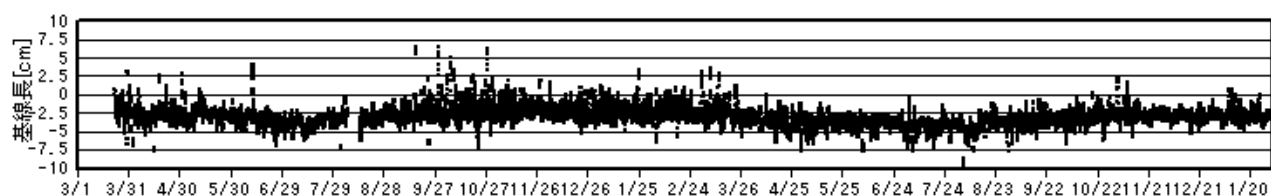
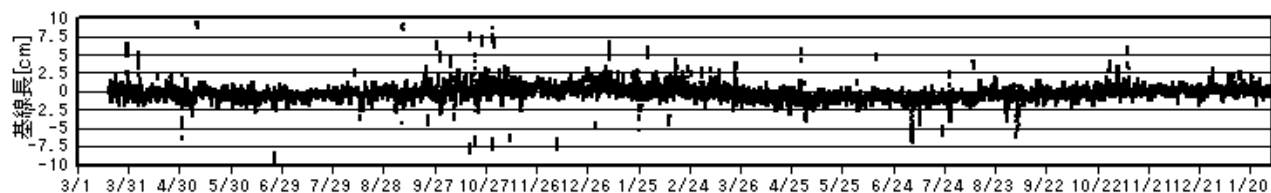


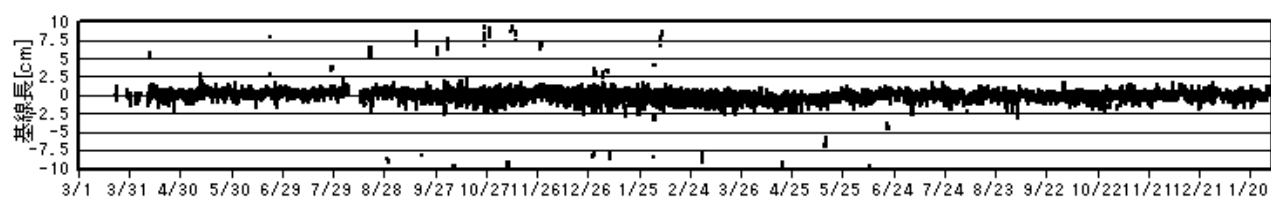
図6 火山性地震の震源分布(2002年12月1日~2003年1月31日)



長者原 - 牧ノ戸峠の基線長(2001 年 3 月 22 日～2003 年 1 月 31 日)

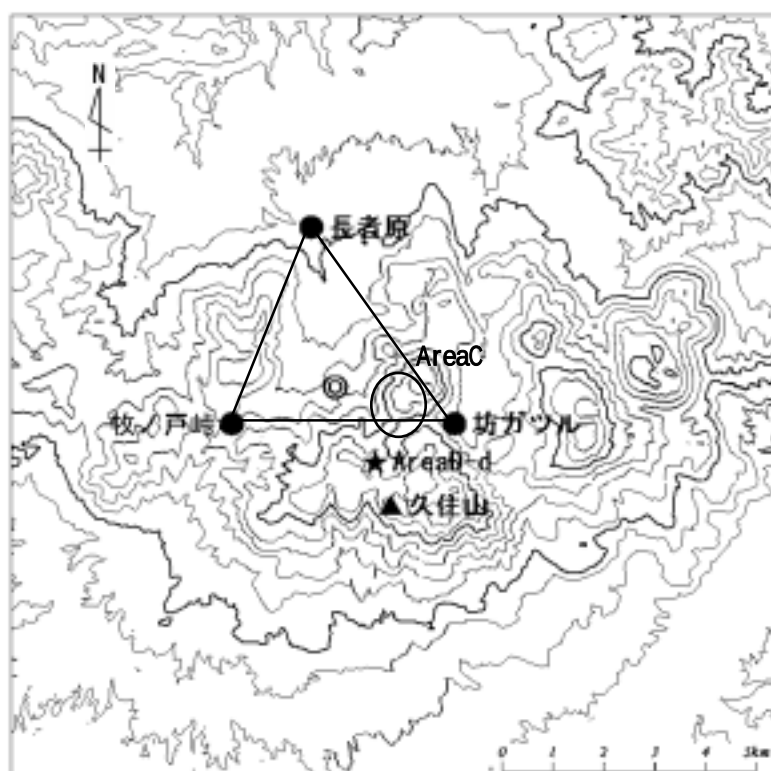


長者原 - 坊ガツルの基線長(2001 年 3 月 18 日～2003 年 1 月 31 日)



牧ノ戸峠 - 坊ガツルの基線長(2001 年 3 月 22 日～2003 年 1 月 31 日)

図 7 GPS による基線長



Area D-d: D領域d火孔  
(1995 年新火孔群のひとつ)  
○ Area C: C領域

気象庁観測点  
遠望カメラ1点(長者原)  
地震計1点( )  
空振計1点( )  
GPS3点(●)

図 8 観測点配置図